

各 位

会 社 名 株式会社 CARTA HOLDINGS
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 宇佐美 進典
 (コード番号：3688 東証プライム)
 問合せ先 取締役 執行役員 CFO 永岡 英則
 (TEL. 03-4577-1453)
 (URL. <https://cartaholdings.co.jp/>)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年8月9日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年2月13日に公表しました2024年12月期(2024年1月1日～2024年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	EBITDA (注)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 24,000	百万円 1,500	百万円 1,400	百万円 800	百万円 2,300	円 銭 31.78
今回修正予想 (B)	24,000	2,000	2,100	1,600	3,200	63.38
増減額 (B - A)	0	500	700	800	900	31.60
増減率 (%)	0.0	33.3	50.0	100.0	39.1	99.4
(参考)前期連結実績 (2023年12月期)	24,111	1,301	1,798	△2,360	1,163	△93.81

(注) 当社は、経営上の重要な指標としてEBITDA(利払い前・税引き前・償却前利益)を用いております。EBITDAは、税金等調整前当期純利益に支払利息、減価償却費、償却費、のれん償却費、固定資産除却損及び減損損失を加えた金額です。

2. 修正の理由

当期の連結業績見通しに関して、前回発表予想では、景気動向の先行きに不透明感があること、Google社のChromeブラウザにおけるサードパーティCookieの利用廃止の影響が想定されること、昨年実施した販売管理費削減の効果が本格的に寄与する一方で、新たな事業成長のための投資として、新規顧客獲得のための広告投資や中途採用活動の再開を予定していること等を保守的に考慮しておりました。これに基づき、売上高240

億円、営業利益 15 億円、経常利益 14 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 8 億円、EBITDA23 億円と予測しておりました。

現在の事業環境について、デジタルマーケティング事業における直販取扱高や電通グループとの新規協業取扱高が順調に伸長していること、Google 社の Chrome ブラウザにおけるサードパーティ Cookie の利用廃止が撤回されたことはプラス要因ですが、一方で予約型広告の落ち込みが続いているため、売上高は前回発表予想と変わらず 240 億円の見込みとなっております。

営業利益に関しては、コストコントロールの実施により販売管理費を効率的に投下できていることから、前回発表予想を 5 億円上回る 20 億円の見込みとなっております。

経常利益については、営業利益の増加に加え、2024 年 12 月期第 2 四半期において為替差益を計上したこと等により、前回発表予想を 7 億円上回る 21 億円の見込みとなっております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益の計上や連結子会社の清算に伴う法人税等の減少により、前回発表予想を 8 億円上回る 16 億円の見込みとなっております。

なお、配当金につきましては、1 株当たり中間配当 27 円及び期末配当 27 円の合計 54 円を予想しており、2024 年 2 月 13 日に公表した内容からの変更はございません。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上